

## 後輩へのメッセージ

### 留学生と創る！「京文化（能・酒造等） マイクロツーリズム読本」

プロジェクト科目は学生時代だから経験できる、大変恵まれた環境だと思いません。社会に出る前に、多様な人と仕事をするときに必要なスキルや考え方を学ぶことが出来ます。異なる学部・学年の人と共に、時には楽しく、時には衝突しながら1つの目的に向かって本気で取り組める貴重な場所です。「普通」に過ごしていれば交わることのなかった人と出会い、刺激し合える仲間になれます。特にコロナ禍によって多くの交流の場が制限されている昨今、この授業は“繋がり”を作る絶好のチャンスなのではないかと感じています。刺激のある、切磋琢磨できる日々を送りたい方はぜひプロジェクト科目を受講してみてください。

### ラジオの魅力 ー学生パーソナリティーの現場から高齢者へ

自主自律。私たちのプロジェクトを一言で言うのであれば、こうでしょう。というのも、私たちのプロジェクトは学生が主体となり自主性が求められるからです。そして自主性が求められる分、やりがいを感じられ、楽しい場面も多いです。しかし、やりがいには苦勞がつきものです。例えば、個人的に苦勞したのは事務手続きです。この科目では会計や企画書など様々な書類提出を求められます。細かなことが多いですが、事務手続きというものは大変勉強になることであり、良い経験となりました。

講義授業では物足りない、何か刺激がほしいという人は挑戦してみてくださいはどうか？後輩のみなさん、頑張ってください。

### 京都の伝統織物ができるまで ーオンライン体験を考えるー

プロジェクト科目は、大変なこともあります。それ以上にかけがえのないものが得られます。プロジェクト科目の魅力は二点あります。一点目は、活動がチーム単位だという点です。自分の遅れがチーム全体の遅れとなるため、一人ひとりが責任を持ってタスクをこなす必要があります。チームの中で自身の役割を全うする大切さを学びました。二点目は、学外の方と関わる機会が多いことです。取材のため学外の方には日程調整等の連絡を頻繁にします。失礼のないような電話やメールは大変でしたが、社会に出た際に必要なスキルを学びました。これらの魅力があるプロジェクト科目で、通常の科目では経験することのできない体験を通じ、ぜひ学びを深めてください。

## 地域の共感をよぶ映像制作 ～まちづくり観光の視点から～

昨年の自分はプロジェクト科目を履修するかをすごく迷っていた記憶があります。自分にとってプラスになることは間違いないのですが、一度も映像に触ったことがなく不安でいっぱいだったからです。履修してみて初めて気づいたことなのですが、できないからやらないというのは逃げであったように感じ、この選択ができた自分が誇らしくなりました。授業外での活動や予定の変更などいつもの授業ではやらないことも求められますが、主体性や責任感をしっかりと身に着けられる環境であったと振り返っています。迷っている方はぜひプロジェクトに参加してみてください。その勇気が自分を変えてくれます。

## つながりを取り戻す コミュニティスペースのデザイン

同志社大学プロジェクト科目はとても過酷でした。自分1人の行動でなく、“チームのリーダー”としてずっと考えていました。この授業だけでも100時間以上は当たり前のようにつかいました。そんなことはしなくてもいいですが、それほど時間をかける価値があります。とても成長でき、精神的にも体力的にも能力的にも向上できたと思います。ただ授業を受けることより何倍も辛い大変です。ここを美談にはしません。でも、その頑張りが報われる時が来るからこそとてもいい1年になりました。もしこれを見ているあなたに興味のあるテーマがあるなら、“楽しんで”頑張ってください。

## 「子育て×働く」のリアルを探求する キャリア教育プロジェクト

この科目では、「子育て×働く」というテーマを通じてさまざまなことを考えていく授業です。

将来どんなところで働くかということだけでなく、自分が誰とどんな風に生きたいかを考えます。履修生同士で自分の価値観を共有するところから授業は始まり、それらの興味や関心によって調べるテーマや取り組むことも自分たちで決めることができます。

社会に出てから情報収集を始めるのではなく、大学生のうちから自分自身の「人生」についてじっくり見つめてみる時間を持ってみませんか？

知らないより少しでも知っている方が、この先の選択肢を増やすことができます。ひいてはそれが自身の可能性を広げることに繋がるはずです。

## 京都・伏見で酒ツーリズムのしくみをつくる

この授業はあらゆる学部、学年の人達が1つのチームで一緒に目標に向かって進んでいきます。ツアーの企画から実施に至るまでのアイデア出しや準備を重ねていく中で他のメンバーから多くの刺激をもらいました。また、チームで動いていくためには1人1人の主体的な行動力が大切であると学びました。何度も壁にぶつかり、立ち止まることもありましたが、本番のツアーを迎えたとき、楽しんでいただけている参加者、なによりメンバー自身がツアーを楽しんでいる様子を見ることができ、達成感と嬉しさが込み上げてきました。この授業は忘れることが出来ない貴重な体験がたくさん出来ます。気になったらやってみることをぜひ挑戦してみてください。

## 京都の魅力を発掘し、持続可能な体験型観光商品を作成・実施

本科目の履修を通じ、学年も学部も異なる仲間たちと協力して新しい価値を創造するという貴重な経験をさせていただきました。1年間プロジェクトに取り組む中で、仲間たちの持つ個性豊かな強みを吸収でき自身の視野が広がったと感じます。それぞれの強みとプロジェクトを成功させたいという熱意が合わさった瞬間は、1人の力では為し得ない問題を乗り越えられる気がして、とてもワクワクしました。また、本科目は多くの方からの協力があって成り立つものです。先生方、事務局の方、地域の方々への感謝の気持ちを忘れず、私たちもプロジェクト達成に向けて最後まで頑張ります。履修を迷っている皆さん、ぜひプロジェクト科目で自分を成長させるチャンスを掴んでください。

## クリエイティブな映像制作でインターネットの安心安全を守る！

とても楽しい授業なので、絶対に取って後悔はしません！先生は本当に親しみやすく、学生のような一面を見せてくださることもあります。困った時にはいつも的確なアドバイスをくださります。活動は学生主体で行っているため、テーマに沿った作品を自由に作成することが可能です。現代の問題と向き合うこともでき、ただ映像制作能力を身につけるだけでなく、多くのことを学ぶことが出来ます。ただ活動が多く、他の自分の予定と両立することは人によっては厳しいかもしれません。それでも、その大変さを超える達成を、賞を獲った時には得ることができるので、短い大学生活で何か打ち込みたい、充実させたい！と考えている方には是非お勧めします！

## 京丹後移住促進プロジェクト ～新たな地方移住の仕組みづくり～

まず始めに皆さんにお伝えしたいのは「舞台は整った」ということです。私たちはプロジェクト初年度の学生として、“まちづくりの土台”である地域住民の主体性や、信頼関係の構築を実現しました。“移住促進”は1年間で達成できるものではなく、地域の魅力の維持のために今後何年もかけて模索すべき1つの手段だと考えています。そのため次年度に履修する皆さんには、私たちが行ってきた移住者候補へのヒアリングやフィールドワーク、ワークショップの成果を継承し、さらに具体的なまちづくりを実行して欲しいと思っています。

この1年間で、地域団体“まるっぼ間人”の方々やワークショップ参加住民を始め、延べ80名以上の方々と関係性を築いてきました。元々まちづくりに対して消極的だった間人地区にも、今ワクワクしながらまちづくりに取り組もうとしている方が多くおられます。あなたもプロジェクトの一員として多くの人を巻き込み、熱を持ってまちづくりに取り組んでみませんか。

## 教科書に載っていない古典の魅力を探る くずし字教材の開発と実践

「三人寄れば文殊の知恵」が言い得て妙な科目、それがプロジェクト科目です。学年や学科の違う複数の学生と1つの目標に向かって取り組んでいきます。

プロジェクトはリーダーを軸に各メンバーが協力し合うことで進みます。協力し合うのが思っていたよりも難しく、悩むことがありました。個人1人だけで取り組むならば苦労しなかったことです。しかし、それだからこそ個人1人の力では到達できない経験ができます。前例がないことに学生目線で挑戦する。本プロジェクトの「くずし字の教材の開発」は前例がないことでした。

新しいことに挑戦したい、自分とは違った背景をもつ人たちと1つのことを成し遂げたい。こうした思いを持つ人にとってつけの科目だと思います。